

2007年
6/13 WED
第1743号

THE SEMICONDUCTOR INDUSTRY NEWS

半導体産業新聞

日本精密電子

半導体関連②

鏡面加工CMP

リテーナリングを製造

エンプラ長期確保で生産増強体制を確立

日本精密電子㈱(横浜市
景区中田北一―二九一、
一住運務社長、☎〇四五―
八〇五―三三七一)は、鏡
面加工を施したCMPリテ
ーナリングを製造してお
り、CMP装置のフレイク
インコストを低減できるた

め好評を得ている。
同社は、荏原製作所の協
力工場として荏原製CMP
装置の純正リテーナリング
を製造しており、業界トッ
プシェアを獲得している。
鏡面加工のリテーナリング
は、独自の表面研磨技術に

より、表面粗さRa_{1.0}n
m以下を表現し、すでに世
界特許の出願を行ってい
る。

初期のパーティクル発生や
スクラッチなどのディフェ
クトの原因にもなってい
る。
しかし、同社製リンクは、
鏡面加工を施すことで、フ
レイクインの負荷を大幅に
削減可能で、装置のダウン

タイムの短縮にも貢献して
いる。評価によると、タミ
「ウエハーやスラリーの使
用量削減にもなっていると
いう。」
また、三〇〇mmウエハー
用リテーナリングに採用さ
れているスーパーエンプラ
の「テクトロンPPS」に
ついては、このほど製造元
である米QUADRANT
社から二〇〇九年まで材料
の安定供給の確約を取り付
けている。さらに、〇九年
以降の供給も安定する見通
しで、これを受けて増産体
制に向け、工場の新設も積
極的に進め、三〇〇mmウエ
ハーの拡大と微細化に対応
できる体制が整った。

リテーナリングの生産体
制を強化中で、この六月に
は熊本県荒尾市に、熊本工
場(敷地面積七二〇九㎡、
延べ床面積一三〇〇㎡)が
稼働を開始する。既存の本
社工場・藤沢第一・第二工
場と合わせ、月産三〇〇
枚以上の生産能力を備え
る。さらに八月には藤沢第
三工場を新設稼働させる予
定で、また「熊本工場では
第二期工事の検討にも着手
する」(一住運務社長)。こ
れにより、関東地区での地
震や災害などのリスク対策
も終え、供給体制への信頼
性も整えた。
今後は、四五nm以降の
微細化に向け、リテーナリ
ングのさらなる性能向上に
取り組み、装置でのフレイ
クインレスの開発と耐磨耗
性に優れたスーパーエンプ
ラの新素材の評価にも入っ
ていく考えだ。

← トップページへ戻る